

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名	急傾斜地崩壊対策等事業		路河川名等	(急)上村2号								
事業毎の通番	4	市町村名	伊那市	箇所名(ふりがな)	上村(かみむら)							
事業概要	事業目的	当箇所は、最大勾配60°、最大高さ37mの急斜面で、保全対象として人家15戸、国道152号、市道、旅館1棟が存在する。斜面の風化侵食が進み不安定な状況となっており、平成27年4月には土砂崩落が発生し、更なる崩壊の危険性が高い。このため早急に対策を実施する必要がある。										
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1 地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)	事業実施の根拠法令等	急傾斜地法								
	関連する事業、計画等											
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	保全対象:人家15戸、国道152号、市道市野瀬秋葉線、旅館1棟										
	着手年度	平成28年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)						
	完成年度(見込み)	平成32年度	費用対効果	2.3	国庫	142,500	その他	15,000	県債	128,250	一般財源	14,250
	全体事業内容(主な工種)	法面工 L=200m			300,000							
	年度事業内容(主な工種)	・地質調査 1式 ・地形測量 1式 ・詳細設計 1式			15,000	7,125	750	6,413	713			
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	施設整備による土砂災害特別警戒区域指定の解除									
		間接的効果(定量的・定性的)										
評価の視点	必要性	○人家戸数:15戸 ○公共施設数:2施設 ○要配慮者利用施設の有無:無 ○避難場所、避難経路の有無:無			評価	B						
	重要性	○過去の災害履歴:有 ○交通遮断による地域経済への影響:大 ○地域防災計画上の位置付け:有			評価	A						
	効率性	○費用便益比:2.31 ○事業期間:5年間 ○工法等の比較検討:無			評価	B						
	緊急性	○斜面の高さ:平均高さ31m Hmax37m ○斜面平均勾配:40° ○地質:礫混じり土、砂質土 ○斜面形状:オーバーハング、遷急線			評価	A						
	計画熟度	○事業情報の共有:関係者以外にも周知				評価	A					
		○地域の取り組み:積極的な取り組みがある ○地域の合意形成:事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働:地域における独自の取り組みがある										
部意見	保全対象に人家15戸、国道152号等がある。H27.4には斜面崩落が生じており早期に対策を行う必要がある。	行政改革課意見	勾配60°、高さ37mの急斜面が風化等により不安定な状況で、保全対象に人家、国道152号、市道があることから、重要性が高く、緊急性も認められる。	評価結果	○	総合評価	A					

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

位置図



平面図



【整備の必要性がわかる状況写真等】

H27.4斜面崩落状況



事業概要説明図表

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当箇所は、最大勾配60°、最大高さ37mの急斜面で、保全対象として人家15戸、国道152号、市道、旅館1棟が存在し一部が土砂災害特別警戒区域内に入っている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成27年4月に降雨により土砂崩落が発生し、5月には地元より要望書が提出された。
③事業説明等の経緯	平成24年12月土砂説明会開催。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	隣接する公園は地区で管理しているため、詳細設計時に配慮する。
⑥地域活性化への影響と配慮	施設整備による特別警戒区域の解除により、付近の土地利用の活性化が期待される。
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度
北緯:N 35° 44' 25"
東経:E 138° 4' 48"